

【全日制】令和六年度 入学式式辞(令和六年四月八日)

日差しが輝きを増すとともに草木も華やかさを増してきました。新たな息吹と躍動を感じさせてくれる、今日の佳き日に、PTA会長 鈴木孝(すずき たかし)様、PTA副会長 下方直美(しもかた なおみ)様、後援会監事 清水信之(しみず のぶゆき)様、後援会顧問 仲野 雅巳(なかの まさみ)様のご臨席を賜り、埼玉県立川越工業高等学校 令和六年度入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、この上ない喜びであります。

ただいま、入学を許可いたしました二六六名の新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。皆さんは今日から、歴史と伝統のある埼玉県立川越工業高等学校の一員となりました。皆さんによって、本校の伝統が引き継がれるとともに、新たな歴史が築かれることを期待します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。義務教育を終え、希望を胸に高校生としての第一歩を踏み出すお子様のお姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと思います。これから三年間、私ども教職員一同、お子様の成長を全力で支援してまいります。家庭と学校がお互いを信頼しあい、しっかりと連携して効果的な教育活動にしていきたいと考えておりますので、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今日から、川越工業高校の一員となり、各分野のスペシャリストを目指すにあたり、私から三つお話をします。

まず一つ目は「何事にも積極的に取り組んでほしい」ということです。学業はもちろんですが学校行事や部活動、資格取得などに、ぜひ「自分で考え」「自分の判断で」行動してほしいのです。ただしこれは、自分勝手になんでも決めていくということではありません。まわりの方に相談し、謙虚な姿勢で一つ一つの言葉に耳を傾けながら、最終的には自分で判断し、行動するということです。恐れずに何事にもチャレンジしていく精神は、スペシャリストになるために必要な資質の一つだと思います。目標を定めて、何事にも積極的に取り組んでください。

二つ目は「常に安全に心がける」ということです。本校は、工業高校なので、工作機械や工具を使用した実習を行います。先生の指示や注意を聞き漏らすことなく、常に作業に集中し、真剣に授業に参加してほしいと思います。また、学校は多くの方が一緒に生活をするところです。常に、周囲の状況に、心くばりをしながら学校生活を送ってください。さらに、交通事故や部活動中の事故などにも十分注意をしてください。保護者の方をはじめ、皆さんを大切に思っている人たちを心配させることがないように、皆さん一人一人が自覚を持った行動をしてください。

三つ目は、「高校入学により、自分をより良く変化させる」ということです。

これから皆さんが登下校時に使用する昇降口の正面に木製のプレートが掲げられています。そこには「夢信進工道(むしんしんこうどう)」という言葉が刻まれています。「む」は夢、「しん」は信じる、次の「しん」は進む、「こう」は工業の工、「どう」は道、この5つの漢字から成る言葉です。「夢を信じて技術者の道を進む」、という意味です。この言葉は本校の卒業生、皆さんの先輩である椎橋章夫(しいばし あきお)さんから、創立百十周年の記念に贈られたものです。椎橋さんと言われてもピンと来ないかもしれませんが、椎橋さんは皆さんもよく知っている JR 東日本の「Suica」の開発リーダーを務められた方です。

高校入学は、自分を変える絶好のチャンスです。なるべく早い段階で、自分のやりたいこと、「夢」を見つけ、夢に向かって突き進んでほしいと思います。今日から皆さんは、新しい友達、新しい先輩、新しい先生などとの出会いが始まり、大きな刺激を受けると思います。本校受験を決意し、今この場で本校生徒となった喜びを忘れずに、入学後の三年間の新しい環境で、自分の進むべき道を見い出し、より良く

自分を変化、成長させるよう一生懸命に努力をしてください。私たちは、精いっぱいそのサポートをすることを約束します。

結びに、本校でのこれからの三年間で、新入生の皆さんが大きく成長されることを心から願い、私の式辞といたします。

令和六年四月八日

埼玉県立川越工業高等学校長

染谷 明生